

渡邊 輝 東海財務局長インタビュー

中小企業の応援に向けての 活性化協議会などをサポート

日本のモノづくりの中核圏域と言われる東海地方。昨年7月財務省東海財務局長に就任された渡邊輝さん(57)。東京都出身で東京大学卒業後、旧大蔵省に入省。内閣府参事官や大臣官房会計課長、20年7月総務省大臣官房審議官、22年6月福岡財務支局長などを歴任。就任8カ月余の渡邊輝財務局長に話を伺った

—就任8カ月余です。当地の印象は？

渡邊 以前から、製造業の盛んな地域として認識していましたが、多くの企業を訪問して改めて製造業の集積地だと実感しました。伊勢湾岸道や名二環など物流インフラの整備も当地域に躍動感を与えていると感じています。

また、人との距離が近い印象があり、例えば、名古屋はここに行くところという人がいる、と分かりやすく、まとまりもある。企業家・技術者も誇りをお持ちで、「会社を見に来て」とお誘いを受けるなど新たな刺激も多いですね。

—当地の景況をどう見えていますか？

渡邊 全体として緩やかに回復していると認識しています。中でも自動車産業は半導体不足など部品の供給制約が緩和され、生産が回復していますし、将来を見据えた設備投資の動きも見られます。

消費についてはポストコロナで外出の機会も増加し、またインバウンド増などによりスーパー、デパートの売り上げも伸びています。不確定要因はありますが、現時点では緩やかに回復していると判断しています。

—直近では日経平均株価が4万円を上回り史上最高値を更新しています。

渡邊 株価の動きはマインドにもつながるので、上がる方がいいのですが、我々の年代は大幅下落の経験があるので、今後とも動きを注



視したいですね。また、株高の要因を問わず、企業は基礎体力を備える必要があるでしょうし、政策も、労働への分配を引き上げて経済全体の好循環を目指すための取組みが大事なのだらうと思います。

株価は経済の体温計ともいわれますが、一般的な生活実感にまで恩恵が行き渡るとなると、経路はストレートではない分、地道な企業努力や政策の取組みが大切だと思います。

—精力的に当地区を回られたと思いますが、地域の声をどのように受け止めていますか？

渡邊 財務局ではここ数年、地域連携に力を入れ、特に事業者への支援体制の構築を重要テーマとしています。支援には、金融機関はもちろん、活性化協議会や税理士、公認会計士等の専門家の関与が不可欠であり、この方々の連携を強化することできめ細かな支援ができるのではないかと、思っています。財務局は事業